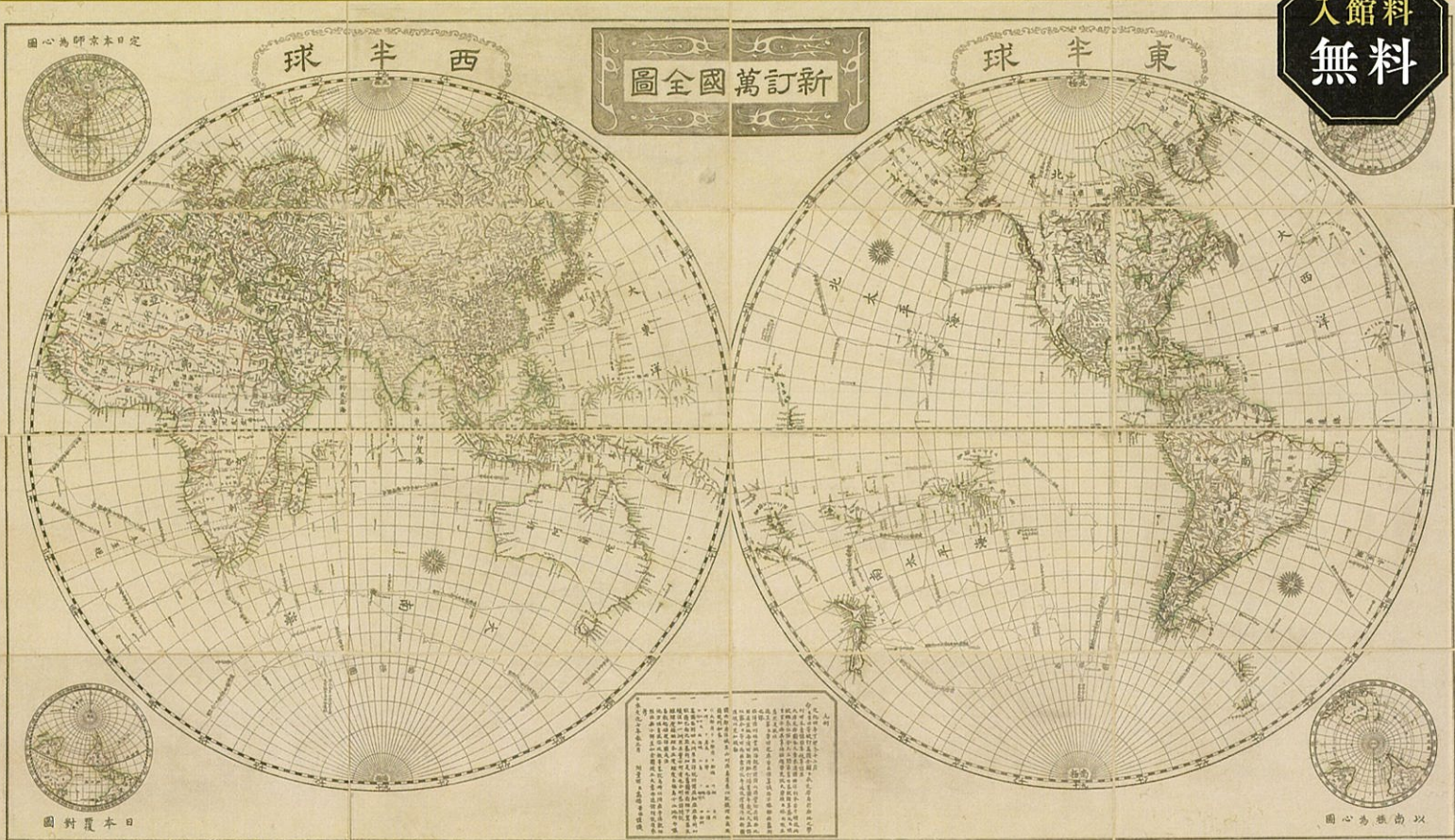


入館料  
無料



# この海の 向こうには、 何があるのか。

まだ誰も、世界の本当の形を  
知らなかった日のこと。

コロンブスやマゼランの挑戦で始まった大航海時代。  
その果敢な航海と発見が、  
地図の歴史を新たに刻みました。

数多の探検家たちが切り開いた世界地図の進化、  
江戸期、日本人による北方探査の末に完成した精緻な地図、  
それぞれが地理的発見の積み重ねの成果です。

日本唯一の現存図「アロウスミス方図」や  
松浦武四郎の「東西蝦夷山川地理取調図」などの  
貴重なコレクションとともに、  
地図が描く世界と日本のかたちをひも解く旅へと  
ご案内します。

2024  
**9.30**  
MON.  
2025  
**9.26**  
FRI.

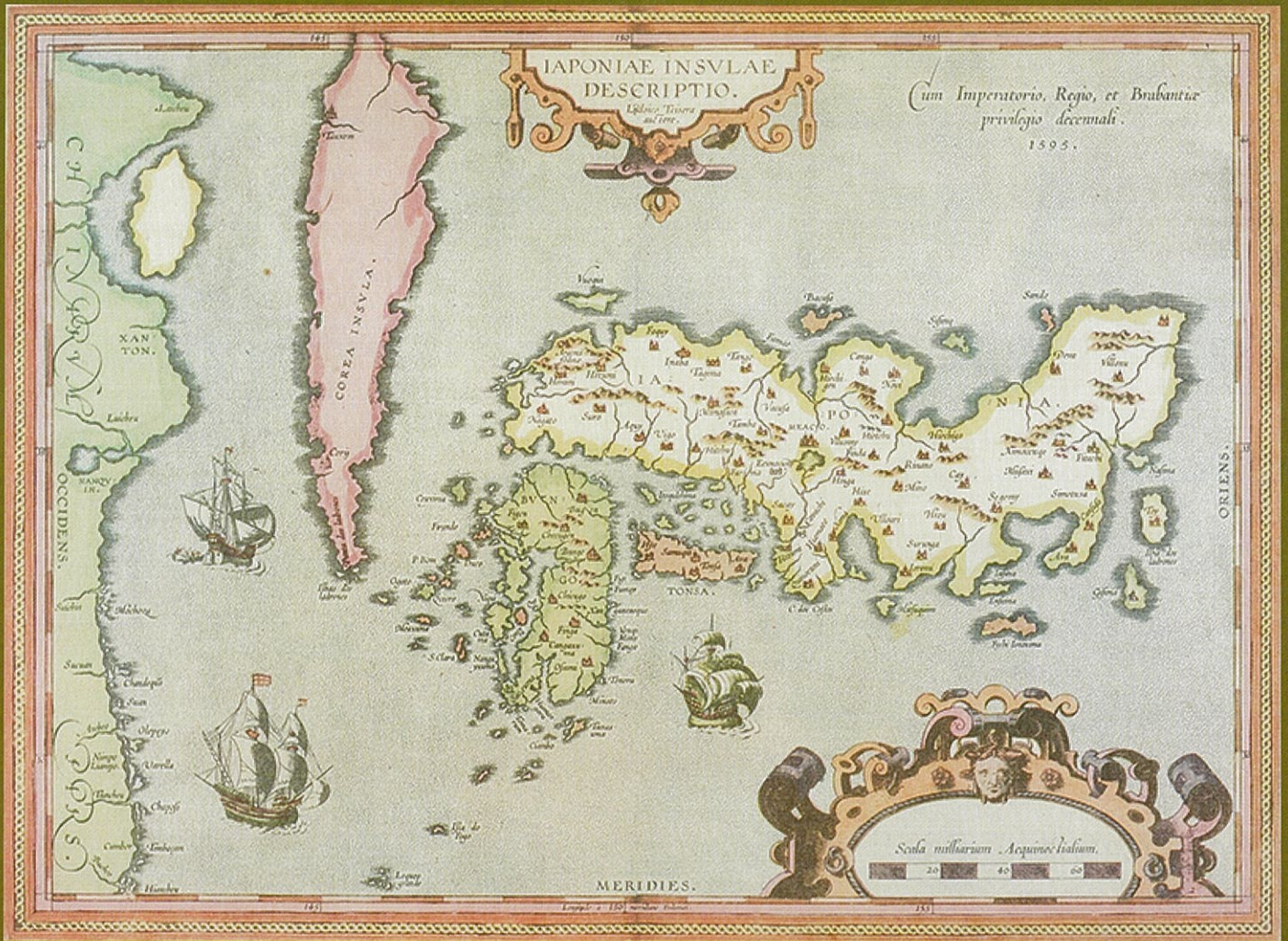
企画展示

## 杏雨書屋の古地図展

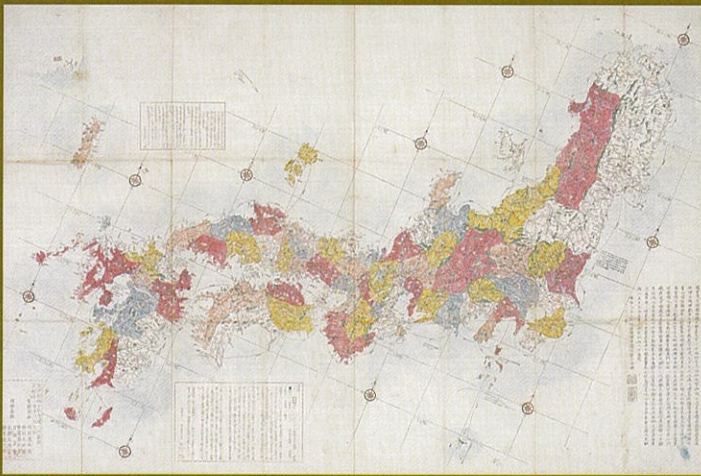
— 地図の歴史と日本のかたち —

公益財団法人 杏雨書屋 [開館時間] 平日10時-16時  
武田科学振興財団 [休館日] 土日祝日、その他当館の行事等に伴う臨時休館日

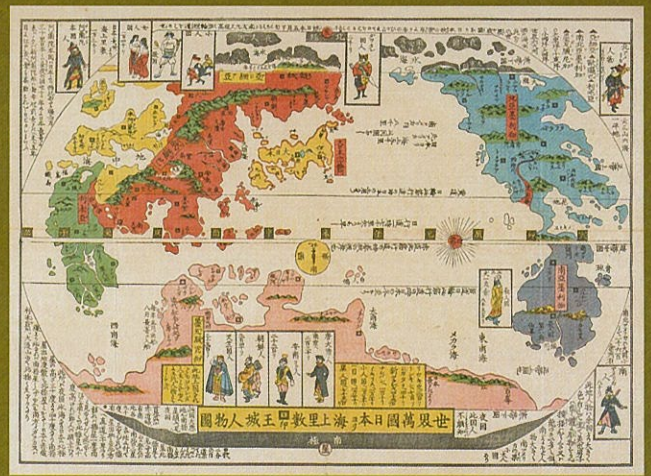




「IAPONIAE INSVLAE DESCRIPTIO.」[日本図] 1595年



「改正日本輿地路程全図」安永8年(1779)初版



「世界万国より海上里数図」嘉永年間(1848-54)

公益財団法人  
武田科学振興財団  
**杏雨書屋**  
《きょううしょおく》



武田薬品工業株式会社創業家の当主、五代武田長兵衛(和敬翁)は関東大震災(1923年)により貴重な典籍類が灰燼に帰したことを痛嘆し、日本・中国の本草書などの散逸を防ぐことが社会のために有意義であるとの思慮から、私財をもって購入を始め、後に「杏雨書屋」と呼ばれる文庫を形成しました。杏雨とは杏林(良医・名医)、広くは医学界を潤す雨の意です。この事業は六代武田長兵衛にも引き継がれ、歳月と共にその内容はさらに充実したものとなりました。その後、これらの資料を広く公開し学術研究の利用に供することが学術振興に寄与するとの考えのもとに武田科学振興財団に寄贈され、1978年に図書資料館として開館しました。本草書や東洋医学書を中心に博物書、西洋医学書、漢籍、仏典、敦煌文献など、国宝3点・重要文化財14点を含む約4万点(15万冊)を所蔵します。

**杏雨書屋  
の事業**

- 閲覧・複写(研究者対象、要予約)、掲載申請対応。
- 常設展示(随時入替)、特別展示会及び研究講演会の開催(年2回)。
- 蔵書の復刻版や学術書、機関誌「杏雨」等の出版。



大阪中央区道修町二丁目3-6 武田道修町ビル  
[開館時間] 平日10時~16時  
[休館日] 土日祝日、その他当館の行事等に  
伴う臨時休館日

ホームページはこちら  
<https://www.takeda-sci.or.jp/business/kyou.html>

